広報ほうじょう

町の人口
（昭和62年5月31日）

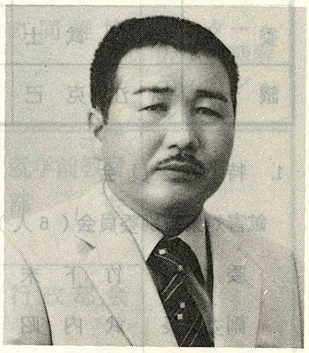
男	3,962	（－12）
女	4,403	（－10）
計	8,365	（－22）
世帯数	2,760	（－ 6）

町議会議長に堀江克己氏
副議長に長尾寿郎氏が就任

昭和62年4月26日執行の統一地方選挙の後、初議会が5月12日から開催され、白石藤雄議員が臨時議長に選出され、議長の選挙などが行われました。

その結果、議長に堀江克己議員、副議長に長尾寿郎議員、議会代表監査委員に高津新議員が選出されました。

なお、常任委員会委員の構成は別掲のとおりです。



方城町議会議長
堀江克己氏

方城町議会副議長
長尾寿郎氏

議長・副議長就任のあいさつ

この度、方城町議会議員の多数の方々の支持によりまして私達、議長、副議長に選任されましてその責任の重さをひしひしと感じております。

もとより浅学非才でありますが選任されました以上、議員各位のご協力を得て、議会の円満な運営に努力する覚悟であります。

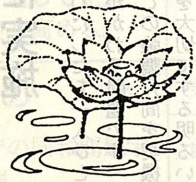
ただいま方城町は財政再建の中途であり、厳しい財政指導を、自治省より受け思うに任せない財政事情であり、町民の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、まずはこの脱却が第一であり、併わせて福祉事業や社会教育に力を注ぎ、町民全体がお互に尊敬しつつ、心の和を大切にし、明るい、そして住み良い町にしなければならないと思って居ります。

私達はもちろん努力いたしますし町民の方々のご指導と、ご協力をお願い致す次第であります。

最後に町民皆様のご健康とご多幸を祈念致します。

七月のこよみと行事

1日　国民安全の日
7日　農業委員会一般選挙における告知日
〃　七夕（たなばた祭）
11日　水難防止キャンペーン（ため池水難事故防止等）
18日　勤労青少年の日
20日　海の記念日
21日　方城町民プールオープン
下旬　水泳教室開催（教育委員会主催）



!! 暴力追放は皆んなの手で !!「小さなことでも一一〇番」

1987年度「同和」問題啓発強調月間行事計画（案）

行事及び行事概要	行事内容					摘要
街頭啓発 月間初日に実行委員会の役員等によって実施する。	実施月日	場所	参加者	対象者	担当	チラシ配付 県・町各800枚
	7月1日	町民体育館	行政実行委員	全町民	役場（総務課）	
同和問題講演会 町民の同和問題に対する正しい理解と認識を深める為、全町民を対象に実施する。	開催日時	会場	講師	対象者	担当	ポスター 入場整理券 ティッシュの配付
	7月12日 10:00～12:00	町民体育館	円通院住職 狩野俊猷氏	全町民	町同推協	
	7月4日 13:00～16:00	中央公民館	方城中学校	保母職員 学校教職員	就学前教育部会	
	7月14日 9:30 13:30	中央公民館	県同和教育課指導主事 木村和幸	行政職員	行政部会	
県主催講演会 県の主催する講演会に参加し理解を深める。	開催日時	会場	講師	対象者	担当	
	7月23日 13:30～16:30	飯塚市民会館	主婦 久保正子さん	団体関係者	教育委員会	
社会教育関係団体の研修 同和問題に対する理解を深めるために実施する。	開催日時	会場	講師	対象者	担当	
	7・8・9月協議の上	中央公民館		団体所属の人	教育委員会	
啓発・広報 ・横断幕　・懸垂幕 ・町広報紙 ・ポスター	時期	場所		対象者	担当	
	期間中	役場・歩道橋 中央公民館 隣保館		全町民	同対課	
人権作文ポスター 表現活動を通して児童・生徒の感性を高める。	実施時期	担当	内容			
	期間中	学校教育部会				
その他 失対現場での同和問題学習会の開催	実施時期	主催	場所		実施主体	
	期間中	福岡県	各現場		教育委員会	

方城町議会　常任委員会委員名簿

（昭和62年5月12日現在）

総務委員会（定数6人）			文教厚生委員会（定数5人）			産業建設委員会（定数5人）		
職名	氏名	住所	職名	氏名	住所	職名	氏名	住所
委員長	仲村生雄	伊方 4237～3	委員長	原田文義	伊方 1814	委員長	竹下末弘	伊方 3009
副委員長	仲島邦彦	弁城 2337～1	副委員長	岡本繁穂	弁城 1426～3	副委員長	武内昭英	伊方 1865
委員	永原勝芳	伊方 3567～1	委員	山口忠市	伊方 2517～2	委員	原田富夫	弁城 2525～1
委員	仲島富士雄	伊方 2866	委員	白石藤雄	伊方 2706	委員	中村勝彦	弁城 2532～4
委員	久富武士	伊方 2090～2	副議長	長尾寿郎	伊方 1273	監査	高津新	伊方 278
議長	堀江克己	伊方 4476～8						

1. 特別委員会

鉱害対策特別委員会（6人）

委員長　竹下末弘
副委員長　武内昭英
委員　山口忠市
委員　仲島富士雄
委員　白石藤雄
委員　久富武士

2. 一部事務組合議会議員

下田川衛生組合議会（1人）
岡本繁穂

田川地区伝染病院組合議会（1人）
長尾寿郎

田川地区消防組合議会（1人）
仲村生雄

田川地区斎場組合議会（1人）
原田富夫

3. 方城町消防委員会委員（2人）
永原勝芳　仲島邦彦

4. 方城町同和地区住宅新築資金等審議会委員（3人）
原田文義　中村勝彦
久富武士

5. 方城町工場設置奨励審議会委員（5人）
永原勝芳　原田富夫
山口忠市　中村勝彦
岡本繁穂

七月は同和問題啓発強調月間 福岡県下いっせいに実施

福岡県と市町村は、昭和五十六年より毎年七月を同和問題啓発強調月間と定め、各種の啓発行事を活発に展開してきました。

同和問題を早く解決することは国、及び地方公共団体の責務であるとともに、私達町民一人ひとりの課題でもあるのです。

現在行政が同和問題解決のために進めている、諸事業によって、同和地区の環境はある程度改善され、同和問題の解決に向って前進しました。

しかし一方において、心の中にある偏見や差別の問題の解決という大きな課題を残しています。

同和問題は同和地区に限られた問題ではありません。社会全体のあり方、わたしたち一人ひとりの生き方にかかわる問題です。

七月のこの強調月間を契機として、人権を大切にする明るい社会を築きあげましょう。

方城町では次のような月間の諸行事を行います。

七月十二日の全町民を対象とした講演会には、若宮の円通院住職狩野俊猷氏を講師としています。

身近で分りやすい講演をしてくださいますので、ぜひ参加をお願い致します。

なお、細かい月間の啓発計画は次表のとおりです。

同和問題啓発強調月間推進委員会

会長　中島義章

総合水防訓練を実施

（下田川四カ町消防団・NTT・九電田川営業所）

雨期に備えた田川地区の総合防災訓練が、5月15日糸田町の中元寺川、岩下井ぜきで行われました。

この日参加した団体は、田川地区消防本部をはじめ、下田川4カ町消防団（金田、赤池、糸田、方城）九州電力田川営業所、NTT田川電報電話局など約2百人が参加、あらゆる水害を想定しての水防訓練に汗を流しました。

訓練は低気圧の通過で筑豊地方は豪雨に見舞われ、中元寺川の堤防が決壊、糸田町内に濁流が流れこんだとの想定で行われました。

訓練は消防団の土のう積み（月の輪工法他3種類）NTTの通信線復旧工事、田川地区消防署の、車輌火災の消火、負傷者の救出など約二時間にわたって行われました。

近くの住民や、小学生の子供たちも、かたずを飲んで訓練を見守っていました。

方城町消防団による月の輪工法

障害基礎年金・遺族基礎年金を受給中の皆さんへ

7月は、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けている人が、現況届を提出する時期です。

現況届は、年金を受けている人が年1回、あなたや家族の所得と家族の状況などを記入した届書を提出し、引き続き年金が受けられるかどうかの確認を受ける大切な手続きです。

※　忘れると年金がストップ

もし、提出が遅れますと、年金の支払いも遅れます。必ず7月末日までに方城町役場年金係に提出してください。

現況届の用紙は、5月の支払通知書と一緒に郵送されています。この現況届には、年金証書と印かんをご持参ください。

※　国民年金証書もお忘れなく

診断書の提出時期を迎えた人には、診断書の用紙を送ります。専門医の診断を受けて現況届と一緒に提出してください。

※　厚生年金や恩給を受けている人は、その証書も

障害基礎年金や遺族基礎年金を受けている人は、厚生年金や恩給などの年金をあわせて受けられないことになっています。

二つ以上の年金を受けられるようになったときは、その年金証書を持参のうえ、届け出が必要です。

この届け出が遅れたときは、年金を受け始めた時から、さかのぼって返していただくことになります。早めに届け出しましょう。

町民グランドにナイター施設完成

町民の皆さんの永い間の願望であった、町民グランドナイター施設が三月末に完成し、四月二〇日にナイター開きを行いました。

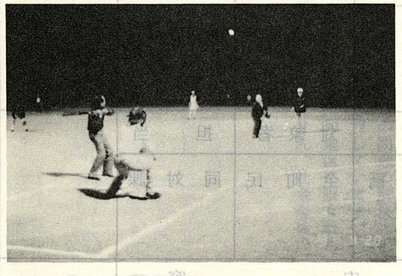
これは全額、昭和六一年度石油貯蔵施設立地対策交付金により建設されたものです。

この施設の完成により町民の皆さんの体力の増進と、技術の向上にどしどし使用されることを期待しています。

使用料はグランド使用料を含めて一時間四千五〇〇円です。時間は十時まで使用できます。

申込みは中央公民館において先着順に受付けています。前日までに専用コインを購入してください。

多くの方々の使用を期待しています。



国民年金の保険料は納めましたか

国民年金の保険料は毎月納めていますか。納め忘れがないかどうか、お調べください。

保険料を納め忘れていますと万一の事故のとき、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられないばかりか、歳をとってからの老齢基礎年金も受けられないおそれもあります。

もし、納め忘れの保険料があれば、いますぐに納めましょう。

お互いの人権を尊重し、差別のない町づくりを

第十七回町民ソフトボール大会

野添常会が優勝

第十七回町民ソフトボール大会が、春期に行われましたが、数度優勝経験のある野添常会が、優勝旗を手中に収めました。

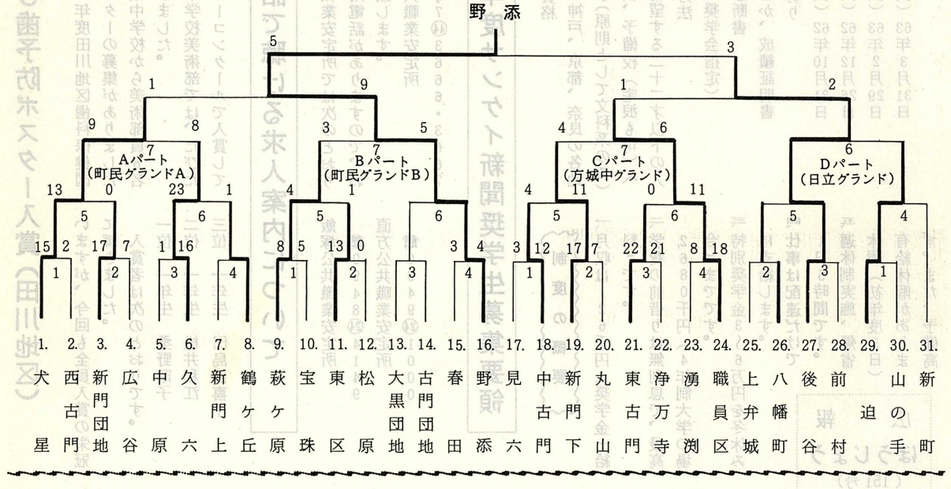
この日二八常会の参加のもとに町民グランド他、三会場四パートに分散して行われました。

各会場で一位となった後谷常会職員区常会、野添常会、犬星常会が、町民グランドに結集し決勝戦が行われましたが野添常会が五対三で後谷常会を破り、優勝しました。

成績は次のとおりです。

優　勝　野添常会
準優勝　後谷常会
三　位　犬星常会
三　位　職員区常会

第17回町民ソフトボール大会取組表



「道路をまもる月間」について

一、目的

この運動は、安全で快適な道路環境を保持するため、交通安全施設等の点検と整備、道路の正しい利用と道路愛護思想の普及の徹底を図り、道路を常に広く、美しく、安全に使用する気運を高めることを目的とする。

二、期間

昭和62年8月1日（土）から8月31日（月）までの1箇月間

三、運動の重点

(1)　道路環境の点検と整備
(2)　道路の正しい利用の指導
(3)　道路愛護思想の普及

四、推進標語

。さわやかな　道路は　あなたのマナーから
。道づくり　豊かな社会の　ミチシルベ
。豊かさを　未来につなぐ　道づくり
。よごすまい　道路は心の　ガラス窓
。夢ひらく　人と道路の　ハーモニー
。しあわせを　子孫におくる　道づくり

お知らせ

標準小作料が決まりました

標準小作料が設けられて16年が経過し、すでに4回改訂を行い、本年度は5回目の改訂となりました。

この標準小作料は、適正な契約小作料設定のための目安として設定され、今日に至っています。

農業委員会におきましては、去る4月3日の総会において、標準小作料設定協議会の答申を受け、次のとおり標準小作料を決定しましたのでお知らせします。

田　2万6千円
畑　1万1千円

なお、農地を貸したり、借りたりする場合には必ず農地法（第3条）による許可が必要です。

許可を受けないで、貸し借りしたときは、ヤミ小作となり農地法による保護はありません。

くわしいことは農業委員会におたずねください。

「行方不明者をさがす相談所」開設について

県警では、今年も「行方不明者をさがす相談所」を開きます。

次のような問題を抱えて困っている方、悩んでいる方は気軽に御相談下さい。相談のためにおいでになるときは、写真など手がかりになるものを御持参ください。

＜相談の内容＞

○家を出て長期間になるが、行方がわからない。

○遺書や日常の言動から自殺するおそれがある。

○病弱、老齢、年少などのため死亡しているかもしれない。

＜過去の発見事例＞

昨年は、225件の相談がありました。そのうち28人の生存確認と2人の死者の身元を確認しました。

○終戦直後に幼い兄弟が親元から離れ、生死不明でありましたが、妹さんの相談で、大阪で元気でいる兄さんと40年ぶりの涙の再会をしました。

○「10年前に行方がわからなくなった息子がどうしているやら」

大牟田に住む年老いたお母さんの相談で、福岡に元気で働いている息子さんの居所がわかりました。

むし歯予防ポスター入賞（田川地区）

昭和62年度田川地区歯科保健図画、ポスターの募集がありましたが、方城中学校から美術部員8名が応募しました。

方城中学校美術部では、たびたびポスターコンクールで入賞していますが、今回も全員入賞の栄冠に輝きました。

入賞者は次のとおりです。

一位　一年生　桑野昭子
二位　一年生　松井和江
三位　一年生　田島由喜子
一位　二年生　田中津久三
二位　二年生　柴田利加
二位　二年生　長谷川由佳子
三位　二年生　池本治穂
二位　三年生　藤浦憲子

電話で聴ける求人案内について

公共職業安定所では次のとおり求人専用電話がありますので、お知らせ致します。

田川公共職業安定所
☎0947(44)3666・3667

飯塚公共職業安定所
☎0948(24)4149

直方公共職業安定所
☎0949(24)1000

63年度サンケイ新聞奨学生募集要領

■応募資格

大阪、神戸、京都、奈良の各地区の大学（原則として文科系のみ）専門学校、予備校（宅浪も可）へ通学を希望する二十二才以下の人。

■応募方法

①願書（奨学会指定）
②健康診断書
③調査書か、成績証明書

■締め切り

（第一次）62年10月31日
（第二次）62年12月26日
（第三次）63年2月29日
（第四次）63年3月31日

制度の概要

一、月収は126千円（奨学金＋給料）です。
二、学費の前借りは無利息で、最高2,680千円（4年制大学の場合）までです。
三、特別奨学金3～6万円を冬休みに支給します。
四、仕事は配達だけで1日5時間です。
五、週休制実施、帰省休暇（初年度5日）有給休暇があります。また、予備高生には受験休暇制度（7日間）があります。
六、部屋は個室（無料）食事は朝、夕2食まかない付です。
七、福利、厚生は万全です。

※問い合わせ、案内書申し込み先
〒530　大阪市北区梅田2丁目4番9号
サンケイ新聞大阪本社内
サンケイ新聞奨学会
電話06（343）1221
内線4571～3番

広報ほうじょう（151号）
昭和六十二年七月一日発行
発行　方城町役場
編集　総務課
印刷　協和印刷